

令和7年2月17日

多摩市長 阿部 裕行 様
多摩市議長 三階 道雄 様
多摩市教育長 千葉 正法 様
子ども教育常任委員長 本間としえ 様

中和田自治会 会 長
多摩・稲城防犯協会 和田支部長
松井 徳孝

要 望 書

日頃より子ども達の安心安全のため様々にご尽力いただき、誠にありがとうございます。
シルバー人材センターの支援により多摩第二小学校前の歩道橋では、安全指導員さんに登下校の見守りをさせていただいておりました。

その方が高齢で体力的に見守り出来なくなった事で、令和6年4月より多摩市が業務委託した業者による安全指導員を1名配置させていただいております。

両親共働きで子育てをしている世帯が大半で、毎日登校、下校時に保護者や地域で見守りする事はとても困難、不可能です。

今おこなっていただいている見守り事業が私たちにとって、どれだけ安心安全につながり、おだやかに生活が出来ている事か。

私は、色んな場面で、多摩市の見守り事業は素晴らしい。

全ての市町村で同様に出来ている事業ではないと語り継いでおります。

子どもの安心安全のために多摩市の施策には感謝につきません。

本当にありがとうございます。

要望：多摩第二小学校の安全指導員を今後も継続して配置してください。

※児童の登下校時の通行に関わる安全確保について

この地域を知らない方が見れば、おだやかな交差点に見えるかもしれません。

故に下記のような危険があり、保護者、地域住民はいつも心配しております。

- ・多摩第二小学校前の野猿街道から庚申塚通りに出入りをする車、バイク、横断する自転車が非常に多いです。

信号の無い横断歩道を児童が横断する際に、車、児童を通行の妨げにならない様に停めたり、行かせたりの交通整理、見守りをしています。

- ・マナーの悪いドライバーが減速せずに左折してきます。
- ・良く車を見ないで横断する子ども、飛び出してくる子どもを時には停めています。
- ・保護者が強く心配するのは、中高学年の下校時です。

遊びながら談笑しながら帰っていて、注意力が散漫で、飛び出しします。

何度も危険な場面を目撃し、子どもに注意をしております。

- ・児童の登下校の安心安全に安全指導員の配置は不可欠と考えます。

※児童の登下校時の防犯に関わる安全確保について

- ・東京防犯協会連合会発行の【家庭と防犯】の掲載記事によると、子どもに対する犯罪は午後1時から午後5時、下校、放課後の時間帯に多く起こっているとの事。下校時間の安全指導員の見守りは、防犯対策にも大きく関わっています。
- ・現在、和田駐在所は改築中。警察官の登下校時のパトロールは、他の駐在さんがおこなっていますが、不十分です。和田駐在所が開所出来ても常に警察官が居るわけではありません。そこに安全指導員が居るだけで犯罪者に対しての抑止になっています。
- ・児童の登下校の安心安全に安全指導員の配置は不可欠と考えます。

※安全指導員の継続的配置へのお願い

現在の子どもの安心安全、命を守る多摩市の安全見守り事業は素晴らしいです。

しかしながら予算削減、配置地域の見直しなどにより、安全指導員による見守り事業が無くなる事がないだろうかと大変心配しております。

次年度以降も多摩第二小学校の安全指導員の配置を永きにわたり継続していただけますように要望します。

以上

[illegible]